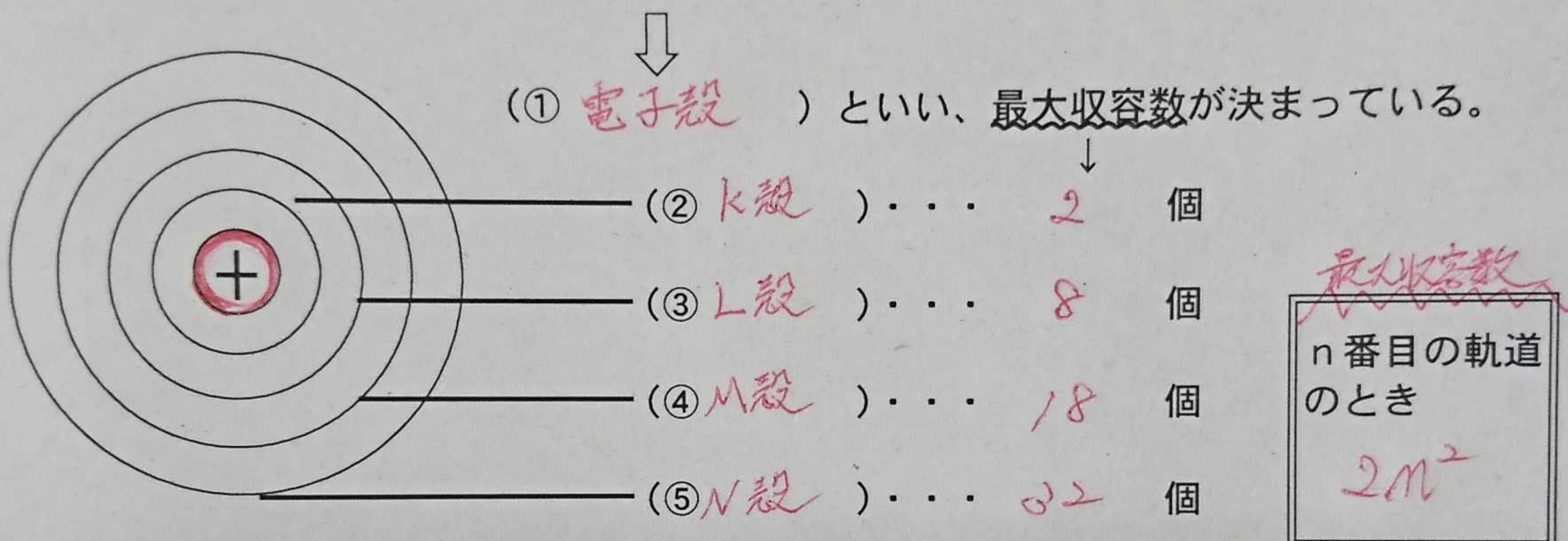


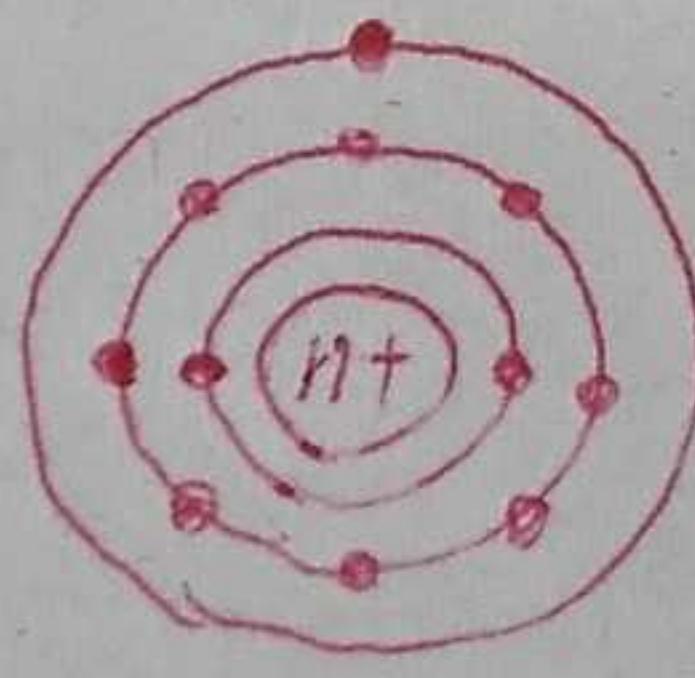
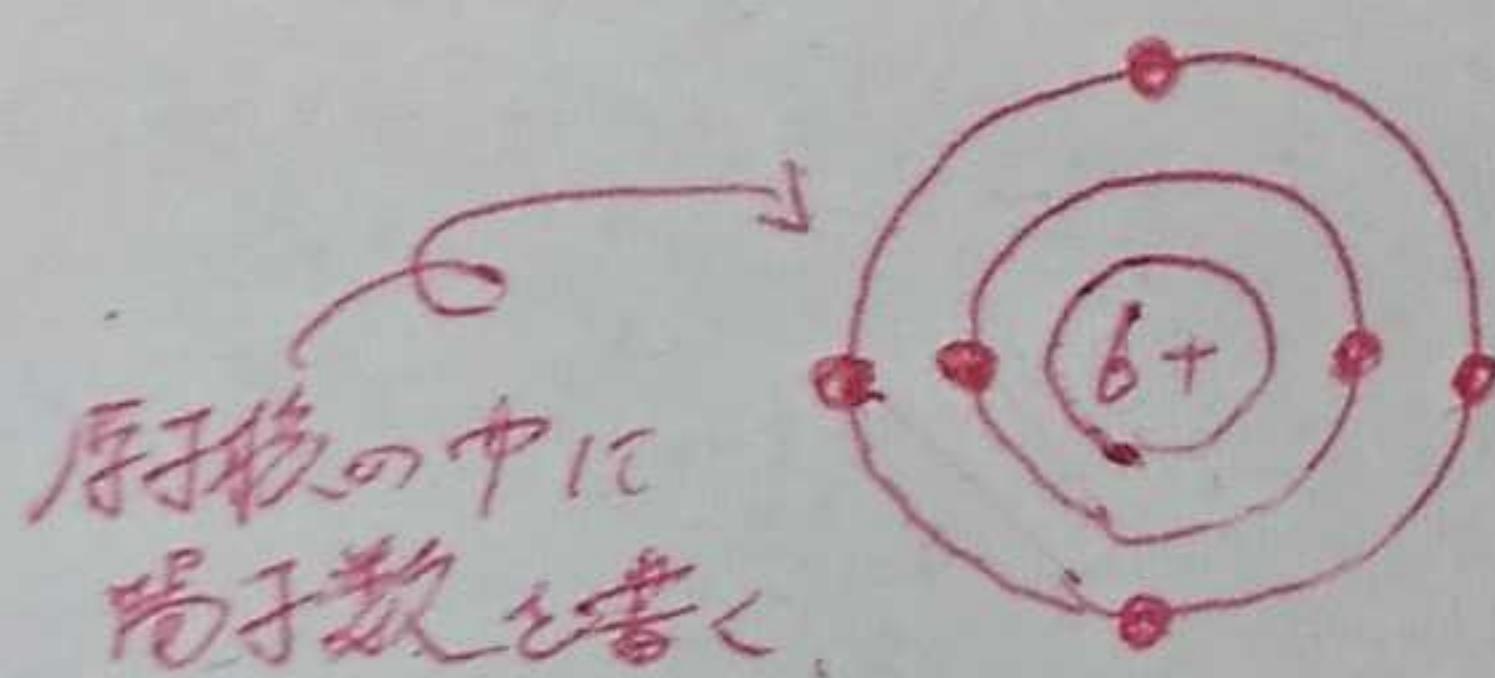
教科書 p 43 ~

C 電子配置★原子核のまわりには、いくつかの軌道(層)があり、その軌道を電子がまわっている。

ex)

C

Na



※K ... 2, 8, 8, 1  
Ca ... 2, 8, 8, 2  
となる。(教科書 p 45)

※電子殻への電子の入り方を  
**電子配置**という。

**⑥ 価電子**

... 最も外側の電子殻(最外電子殻)に入っている電子。

化学的性質を決める。※反応する際にやりとりする電子の数  
ex) Cの価電子数 (7) 4 個

H		He	
Li	Be	B	C
N	O	F	Ne
Na	Mg	Al	Si
P	S	Cl	Ar
K	Ca		
1	2	8	5 6 7 min

Mgの価電子数 (8) 2 個

Clの価電子数 (9) 7 個

電子配置  
を表す

**⑩ 稽古ス** (希ガス) ... 空気中にわずかに含まれる气体で、安定した電子配置をもつ。

(11) 閉殻構造

ex) He, Ne, Ar (Kr, Xe, Rn) 他の原子とほとんど反応しない。(不活性ガス)

※反応に関係する電子がないので、価電子数は (12) 0 個。

最外殻電子数と一致しない!!!

この特徴!

ex) He ... 2  
Ar ... 8

## N0. 9 の重点項目

今回の「C 電子配置」では、原子核の周りには電子殻があること、それぞれの電子殻には決まった数の電子( $2 n^2$ )しか入らないこと、それぞれの電子殻の名称、原子番号1～20までの各元素の原子の電子配置、を押さえる。

また、各原子の電子配置を考えたとき、一番外側の電子殻(最外電子殻)に入っている電子を「価電子」といい、化学的性質を決める重要な電子であること、原子番号1～20までの各元素の原子の価電子数、を押さえる。

最後に、貴ガス(希ガス)について、空気中にわずかに含まれること、エネルギー的に安定した電子配置(閉殻構造)であること、価電子数は「0」となること、を押さえる。他の元素たちがあこがれる理想的な形(電子配置)であることも知っておきましょう。